

	号外	定価1部2円	衆議院選挙も終盤に。私たちが求める政治の実現のため県職労推薦候補・立憲民主党の浸透を！また、期日前投票の活用を
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県管内 岩手県職員労働組合	

2021会計年度任用職員課題

処遇改悪は許さない

低賃金なのに一時金引き下げは納得できない 「予算の調整弁」での任用減・勤務条件悪化は論外

10月21日、県職労は2021確定交渉をスタートさせた。会計年度任用職員制度が導入されて2年目だが、会計年度任用職員の賃金・労働条件、任用数の確保など、制度創設時の臨時・非常勤職員の処遇改善とは程遠い。会計年度任用職員の処遇『改悪』は許されない。課題を共有し、処遇改善に全力を挙げていこう。

①一時金 年収ベースの均衡どこに!?! 期末手当引き下げは断固阻止を

10月21日の人事課長交渉では、人事課長は、会計年度任用職員の期末手当(年2.6月)を職員に準じて引き下げる(▲0.15月)方向を示唆した。当局は「一時金の改定をしたとしても、制度導入前(臨時職員時)より年収ベースでは約23万円上回るため、処遇は確保されている」と主張(40歳・勤続10年・臨時職員のケース)。水準維持を求める県職労主張とは程遠く、納得できるものではない。

【仮に引き下げとなると…】

例) 会計年度任用職員(月額報酬額1級25号。週30時間の例)

ア 月額報酬額が、 $183,800 \text{円} \times 30 / 38.75 = (A) 142,296 \text{円}$ であることから、

イ 12月期で減額される額 $(A) 142,296 \text{円} \times \blacktriangle 0.15 \text{月} = \blacktriangle 21,344 \text{円}$

【2022年度以降】6月期・12月期の減額 $(A) 142,296 \text{円} \times 0.075 \text{月} = \blacktriangle 10,672 \text{円} \Rightarrow$ 年間21,344円の減額!!

会計年度任用職員の一時金の創設は処遇改善を目的としていたもの。しかし、制度導入時にフルタイムの臨時職員をパートタイムとしたうえで、期末手当を含めた年収ベースでの均衡を理屈に月額賃金を事実上引き下げた経緯がある。そのうえで、期末手当の引き下げは極めて問題。さらに会計年度任用職員には勤勉手当が不支給となっていることから、今回の引き下げは阻止しなければならない。

②任用数確保 2022予算編成で必要数確保をすべき

制度導入時から会計年度任用職員の任用数が削減された経緯がある。10月21日人事課長交渉では「必要数を精査し、各職場に必要な数を配置」との姿勢だが、現場で必要な人数が確保されていない。2022予算編成が本格化するなか、予算削減を理由に任用数減の情報も寄せられ始めており、由々しき事態だ。継続して働きたい希望者が多く、職場でも必要な人材。任用数確保が重要課題だ。 (裏面に続く)

③休暇制度拡充 不妊治療休暇新設/常勤職員との権衡を

常勤職員に対しては、新たに不妊治療休暇が新設される見通しだ（日数は国の準じた内容を検討中：年5日+頻繁通院時年5日加算等）。会計年度任用職員にも同様に検討されている。さらに、10月21日人事課長交渉では、配偶者出産休暇、育児参加のための休暇、産前・産後休暇の有給化を行う方針を確認している。子育て等との両立支援のために早期実現を求めていく。

衆院選終盤へ 政権交代で政治を変えよう

＝県職労推薦候補者・政党の最後までの浸透を＝

衆議院選挙も終盤戦に。マスコミの情勢では岸田自公政権が過半数をうかがうなか、全国では立憲民主党をはじめ、野党候補が全力で追い上げており、政権交代実現に向けてギリギリの闘いが進められている。県内でも大激戦の様相だ。岩手での勝利が政権交代実現の重要なポイントとなる。

立憲民主党は、働く者の賃金改善や生活支援、脱原発、コロナ禍で脆弱さが露呈した各自治体機能の強化も公約に掲げている。安心して働ける環境実現のため、比例区は『立憲民主党』を推薦している。

県職労推薦候補者・『立憲民主党』への最後までの浸透を要請する。投票日に投票できない方は、期日前投票で投票しよう。

選挙区 県職労推薦候補者

<p>岩手1区</p> <p>階 <small>しな</small> 猛 <small>たけし</small></p>  <p>(立憲民主党・現5期)</p>	<p>岩手2区</p> <p>大林 <small>まさひで</small></p> <p><small>【野党統一候補】</small></p>  <p>(立憲民主党・新人)</p>	<p>岩手3区</p> <p>小沢 <small>一郎</small></p> <p><small>【野党統一候補】</small></p>  <p>(立憲民主党・現17期)</p>
--	--	---

比例区 推薦政党 立憲民主党

最高裁国民審査 憲法・人権軽視の 深山・林 岡村・長嶺 **×** を!

衆議院選挙と同時に最高裁判所国民審査が行われ、11人が審査を受ける。深山(みやま)卓也・林道晴・岡村和美・長嶺安政の4人は夫婦別姓訴訟(夫婦別姓の婚姻届受理を求める訴訟)で夫婦別姓での受理を認めない現行法は妥当とし、棄却。憲法・人権軽視の姿勢だ。ぜひ「×」を付して不信任を。